



# ざいとう まもる 斉藤 守 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 成田街道前原東地先の交差点

# 渋滞元凶、速やかな改良を



2月定例県議会で一般質問を行う斉藤守県議

安全・安心なふるさとづくりの力を注いでいる斉藤守県議(船橋市選出、3期)は2月定例県議会で登壇し、一般質問を行いました。船橋市内を横断する成田街道では、市内前原地先で慢性的な渋滞が発生していますが、斉藤県議は渋滞の元凶となる交差点の改良工事について質問し、歩行者や自転車の安全通行のために、1日も早い完成を要望しました。また、船橋日大前駅の防犯ボックス閉所に地元住民から不安の声が上っているとして、地域の防犯力が低下しないよう対策を求めました。斉藤県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

### 2月定例県議会一般質問

斉藤議員 国道296号、通称成田街道は、船橋市と匝瑳市を結ぶ主要な幹線道路で、国道14号や国道16号など主要道路に接続しており、船橋市内では、交通が集中し、交差点に起因する渋滞が発生している。

歩きやすくなったという声も聞かれるようになったが、広くなった車道には、未だに電柱やガードレールなどが部分的に取り残されている箇所も見受けられる。小学校の通学路でもあり、一日も早い完成を望む声が多くなっており、工事の進捗がどのような状況であるのか大変、気になる。

そこだろうか、船橋市前原東地先における交差点改良の進捗状況はどうか。県土整備部長 新京成電鉄の前原駅付近の国道296号については、交差点に右折レーンがなく、歩道の幅員も狭いことから、安全で円滑な交通を確保するため、280メートルの区間で2カ所の交差点改良と両側の歩道拡幅を実施しています。

これまでに、約9割の用地を取得し、延べ490メートルの歩道拡幅を実施しており、現在、2カ所の交差点への右折レーン設置工事に向け、占用物の移設協議を進めているところです。

危険の内容や対策内容によって、対策の開始時期や完了時期は異なると思うが、危険な箇所を放置することなく、速やかに対策を行い、子どもたちが安心・安全に登下校できるようにしていくことが必要。

そこだろうか、小学校の通学路の緊急一斉点検を受け、船橋市内の小学校通学路について、道路管理者として、県はどのように安全対策に取り組んでいるのか。県土整備部長 船橋市内では、小学校の通学路の緊急一斉点検に基づき、国道14号など10箇所において、対策を実施することとしています。

これまでに、車止めの設置や路面のカラー舗装など、速やかに実施できる9カ所に着手し、今年度内に9カ所の完了を見込んでいます。残る1カ所の国道296号津田沼駅入口交差点では、設

### 通学路の緊急一斉点検 10カ所で安全対策実施

引き続き、残る用地の取得に努め、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業を推進してまいります。

計や協議を伴う交差点改良を実施することとしています。引き続き、関係機関と連携を図りながら、通学路の安全対策にしっかりと取り組んでまいります。

望望 96号の前原駅付近では、慢性的な渋滞が解消され、歩行者、自転車、安全安心して利用できるよう一日も早い完成をお願いする。この地域の渋滞は、鉄道の立体化をすること以外、100年たっても解決しない。踏切が原因で渋滞が発生し、それを避けるため市道に車が入っていき、子供たちの安全が損なわれている状況だ。しっかりと検討し、速やかな対策を練っていただきたい。

**斉藤守県議プロフィール**

略歴

- 昭和51年3月 同志社法学部卒
- 船橋市PTA連合会会長
- 平成11年4月 船橋市議初当選(3期)
- 平成23年4月 千葉県議初当選(3期)
- 健康福祉常任委員会委員長
- 文教常任委員会委員長
- 自民党船橋市支部長・等

現職

- 県土整備常任委員会委員長
- 千葉県アーチェリー協会会長
- 千葉県体操協会顧問
- 船橋市サッカー協会会長等

●地元船橋市と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

**斉藤 守** 県議事務所

船橋市市場 5-1-21 (市場通り 青山病院前)  
TEL.047-460-3110 FAX.047-489-1950



# 船橋日大前駅の防犯ボックス

## 閉所に戸惑いと不安の声



議場の自席で再質問を行う齊藤県議

年度末で閉所される予定で、地元からは戸惑いや、今後の地域の安全について不安の声が上がっている。

環境生活部長 船橋市の防犯ボックスは、開設後6年余りにわたり、地域の防犯力向上に寄与してきましたが、県内の他の地域で、市町が運営する防犯ボックスも増えてきていることから、県のモデル事業としての役割を終えたものと考えています。

また、県の補助事業を活用して自らボックスを運営する他の市町との公平性も考慮する必要があるので、今年度末をもって閉所することとしたものです。

齊藤議員 県は、船橋市や地元警察署と連携し、移動交番車等を活用するなどして、地元住民が防犯ボックスと培ってきた周辺地域の防犯力が低下することがないように、サポートに努めていただきたい。

齊藤議員 県には、引き続きイベント主催者が提出した感染防止安全計画の内容をきちんと確認し、必要な助言をしていただくこと、イベントに参加する県民に対しても、感染防止対策を徹底することの重要性について周知するよう要望する。

## イベントでの新型コロナ感染防止対策の徹底を

齊藤議員 県がモデル事業として、東葉高速鉄道、船橋日大前駅の東口ロータリー内に設置された防犯ボックスにはセーフティアドバイザーと呼ばれる退職警察官が配置されて、地元自治会との合同パトロール、防

犯知識の助言、街頭監視活動などが行われている。地域住民から大変親しまれ、周辺地域の防犯上、頼りにされている施設だが、平成27年度に設置されたこの船橋市の防犯ボックスが柏市の防犯ボックスとともに今

齊藤議員 幕張メッセで行われるような大型イベントにおける新型コロナウィルス感染拡大を防止するため、県はどのような取り組みを行っているのか。

健康福祉部長 県では、生徒の習熟度に応じた学習や、少人数での体験活動など、個々の状況を踏まえた支援を行っています。

齊藤議員 企業等のSDGsの取り組みを更に促進するために、県はどのような取り組みを行っているのか。

齊藤議員 県では、企業や団体などによる自発的な取り組みを後押ししていくため、昨年11月に「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設し、県民だよりやSNS、メールマガジンなどにより広報を実施するとともに、金

展開を促してまいります。齊藤議員 地域における課題解決を図るため、市町村のSDGsへの理解を一層深める必要があると思うがどうか。

## 不登校児童生徒へ支援 推進校125校指定

齊藤議員 不登校児童生徒支援推進校では、HSC（感覚や人の気持ちに敏感で傷つきやすい子ども）や不登校などの子どもたちのために、どのような支援を行

っているのか。 齊藤議員 学校生活になじまず不登校傾向にある児童生徒の校内での居場所づくりと、きめ細かい支援を推進するため、不登校児童生

徒支援推進校125校を指定し、教員をそれぞれ1名加配しています。 指定校では、不登校児童生徒支援教室を設置し、加配した教員を中心に、児童

再質問 齊藤議員 不登校児童生徒支援推進校の取り組みを、推進

校以外の学校にも広げていくべきと思うがどうか。 齊藤議員 県教育委員会では、推進校の指定を要望する学校が年々増えている状況も踏まえて、現在推進校以外の学校での対応状況について調査を行っておりま

また、期間は指定して、参加者の人数を制限することも、5000人を超えるような大規模なイベントについて、入退場時の密集回避、飲食の場所の制限などを定める感染防止安全計画の提出を要請しているところです。

さらに今後は、県ホームページで登録した取り組み事例を紹介することで、新たにSDGsに取り組み企業を増やすとともに、登録企業等の取り組みの更なる充実や連携による新たな

市町村のSDGsへの理解を一層深める必要があると思うがどうか。 齊藤議員 市町村職員を対象に、SDGsの理念や先進事例などをテーマとしたセミナーを開催するとともに、ちばSDGsパートナー登録企業等の取り組みを市町村と共有し、地域課題の解決に向け、多様な主体の連携による新たな取り組みを促してまいります。